

| | | | | 部会名 | |
|------------------|---|-----|-----------|-------|-----|
| | | | | しごと部会 | |
| 施策No. | 1-4-3 | 施策名 | 移動しやすい観光地 | 施策主管課 | 観光課 |
| ①成果指標について | <p>・成果指標の項目は、施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。二次交通のバス等の利用は増えている。しかし、数値の大半が到着駅や空港から宿泊地(温泉)への移動であり、宿泊地(温泉)から観光地、観光地から観光地への移動割合についての調査は今後の課題である。</p> <p>・目標値の設定は適切か。 →適切である。ルート上にある観光地から観光地間の移動等の把握はこれで十分であるが、ルート上にない観光地から観光地間の移動等の把握は今後の課題である。</p> <p>・他に考えられる指標はないか。 →特になし。</p> <p>・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →的確に分析を行っている。平成27年度で終了した事務事業があるので、更なる成果向上のためにも、新たな事務事業を考えていただきたい。</p> | | | | |
| ②施策を構成する事務事業について | <p>・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →なっている。「みちさき案内推進事業」は平成27年度に終了したので、新たな事務事業を考えていただきたい。</p> <p>・目指す姿の実現に貢献している事業か。 →「みちさき案内推進事業」によるサイン設置は、ナビ等の利用者が増大したとしても、貢献していると考えられる。 「観光ルート整備事業」は、旅行形態の変化(団体旅行から小規模旅行へ)に伴い、1台あたりの乗車数は減少しているが、観光客の利便性の向上には貢献している。</p> <p>・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →特になし。むしろ、より積極的に関与すべきである。</p> <p>・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →「観光ルート整備事業」は、さらに向上すべきである。これまでの主たるルートは、駅から宿泊地、宿泊地から主たる観光地が中心で、観光地から観光地のルートも新たに視野に入れてもらいたい。また、宿泊地の大半は温泉地であるが、各温泉地の特徴なども含めてPRしてほしい。</p> <p>・他に考えられる事業はないか。 →この事業の対象は、温泉から観光地が主である。しかし、近場からきて市内観光する観光客も存在し、そのような観光客に対する事業も考えてほしい。花巻市内の名品、地場産品をめぐるルートの開発(その際には、アンケートなどで若い人の感性を利用)をする事業。</p> | | | | |
| ③施策の総合的な評価 | <p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点や課題が明確になっているか。 →課題の指摘と方向性の把握はその通りである。この事業は、観光業の発展を通じて地域の活性化にもつながるもので、重要である。したがって、利用者ニーズを反映した方向性という指摘にもあるように、温泉地から市内観光地を主とする観光客、市内観光地間移動を主とする観光客など、ターゲット別の対応を考えていただきたい。</p> | | | | |
| ④シート記載内容について | <p>・施策の取り組み実績や事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →特になし。</p> | | | | |